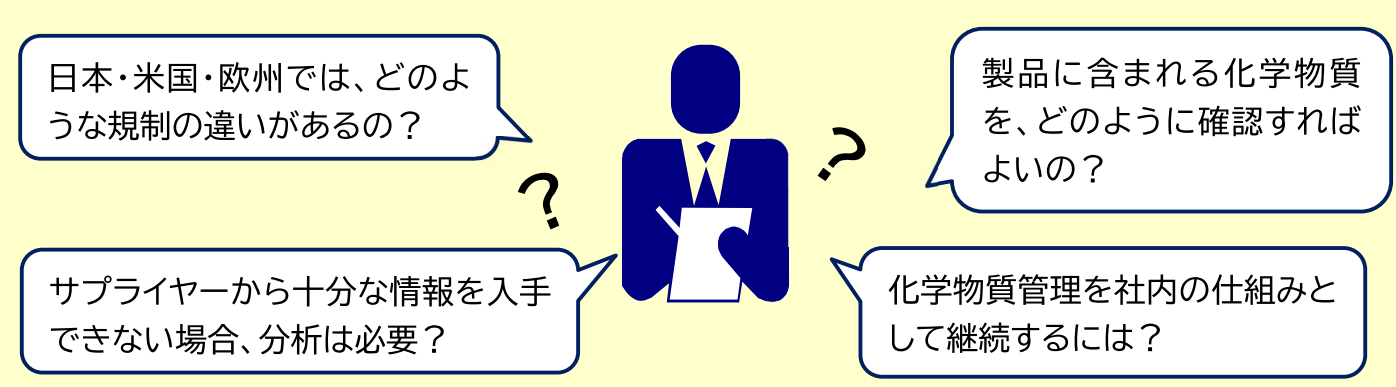
技術セミナー（リアル開催）

製品含有化学物質規制の基礎と実務対応のポイント



日　時　2026 年 12 月 3 日(木) 13:00～16:00

場　所　地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（本部）
東京都江東区青海 2-4-10
●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩 15 分
朝夕無料送迎バスあり、都営バス海 01 テレコムセンター駅前下車

申込締切日
2026 年
11 月 24 日
(火)

定　員　40 名

受講料　3,000 円

特徴

- 日米欧の主な化学物質規制と企業に求められる対応を分かりやすく解説します。
- サプライヤーからの含有情報収集、工程内での混入防止や変更管理など、現場で役立つ管理方法を紹介します。
- 製品含有化学物質を品質の一部として捉え、QMS を活用した継続的な管理体制のポイントを解説します。

詳細は裏面またはこちら

お問合せ先

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター　お客様支援室　技術セミナー係
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10　TEL:03-5530-2308
メール宛先：kenshu@iri-tokyo.jp

技術セミナー（リアル開催）

製品含有化学物質規制の基礎と実務対応のポイント

概　要

近年、日本の化審法、米国の TSCA、欧州の RoHS 指令や REACH 規則など、製品に含有する化学物質に関する規制が強化されています。製品を国内外へ販売・輸出する企業にとっては、自社製品に含まれる化学物質を把握し、適切に管理することが求められます。本セミナーでは、日米欧の化学物質規制の概要を分かりやすく解説するとともに、企業が対応する際の実務上のポイントを紹介します。また、製品含有化学物質を品質の一部として捉え、品質マネジメントシステム（QMS）を活用した継続的な管理体制の構築や、サプライチェーン全体で取り組む効率的な管理方法について解説します。サプライヤーからの含有情報の入手方法や確認のポイント、chemSHERPA や不含有保証書などのエビデンス管理、工程内での混入防止や変更管理の考え方などについても説明します。これから化学物質管理に取り組む方から実務担当者まで、幅広くご参加いただける内容です。

スケジュール

時　　間	内　　容	講　　師
13:00～16:00	1 化学物質規制の全体像 2 日米欧の主要な規制の内容 3 社内管理（QMSの活用）のポイント ・サプライヤーからの情報収集と確認 ・chemSHERPA、不含有保証書などの根拠資料の管理 ・混入防止、変更管理　など 4 まとめ 5 質疑応答	**元MTEP専門相談員※** **駒木根　力夫** （経歴） ・メーカーでの材料開発・製造管理業務を経て、20年以上にわたり製品含有化学物質管理に従事 ・RoHS規制などへの対応体制の構築・運用、サプライヤー監査、顧客・認証機関等による外部監査への対応を担当 ・関連工業会にて化学物質規制動向の把握および業界対応に関与 ・化学物質規制への対応とQMS改善に関する豊富な実務経験を有する

※広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）は、1 都 10 県の公設試験研究機関が連携し、2026 年 3 月末まで中小企業等の海外展開を支援していた組織です。

募集要項

利用約款　下記ウェブページでご確認ください。
https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/

応募資格　原則として、日本で設立登記された法人、個人事業主または創業を予定している個人
国の行政機関、地方公共団体、独立行政法人等その他これらに準ずる公的機関

申込方法　下記ウェブページの申込フォームから、お申込みください。
https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/seminar-261203/

受講可否　受講予定者には、請求書およびコンビニ払込書を郵送いたします。
定員などの関係で受講をお断りする場合、電話または電子メールでご連絡いたします。